また上足寄廃局を通告

町議会で反対決議

町税条例の改正、工事請負契約、常任委員の改選などを主にして招集の臨時才三回足寄町議会は十一日午前十時すぎにひらき（欠席は斉藤副議長）会期を一日として、ただちに町長の行政報告に入り

小林町長　上足寄郵便局の再度の廃止の問題で昨日突如として札幌郵政局の担当課長が参り、本年六月末をもつて廃止したいとの話しで、この問題の経過はご承知のとおり一応二名の定数で存続したが、郵政局の立場としてこんごあの地域のすう勢から昨年の六月末をもつて公報にのつたが地元の強い要請でこんにちまで延期したが、従来の方針にメドをつけたいと一方的な通告で、諒解をうるのでなく処理したいとのことでいろいろと問答したが一方的な形でものわかれとなつた、たまたま道の町村会の決議で乳価の運動と大規模草地事業終了のため農林省へ出向く助役が上京したので、元生方にお願いするが地域の開発、振興のため廃局の阻止につとめたい

大滝議長　地元から請願書が出ているので日程に追加したい

鳴海議員　どうしても二名の最小限を守りたいという執行者としての守る施策方法をどう考えるか

湯浅議員　その形で復活するかもしれないと考える要素はどこにあるか、至難な問題である、政治的にやつて引つくり返るか

小林町長　昨年からこの問題がおきたので、カケヒキとして阿寒の学園都市のメドがつくまで待つてほしいといつたが、この問題は足寄へ決定が想像より早く出てくると推定している、知事も諮問機関に六月末までに用地選定をすすめ四十九年度予算の概算要求をするといつており、思つたより早く候補地として出てくるので、この問題を前面に出して阻止の理由ずけとしたい、郵政局としては戸数から利用がすくないので廃止せざるを得ない、団地など多く利用するところへおきたいというが、地元の意志を体して最後まで存続に努力したい

鳴海議員　学園都市というが、できなかつたら廃止してもよいことになる、最底限度は守るという町長の心がまえでなければならない、田中首相の列島改造論が都市との格差をなくすのであればどうしても守らねばならない、その姿勢がなければならない、お願いとか頼むとかでなく、私が先に立つて阻止するというのでなければならない

香川議員　学園都市では運動が弱い、過疎から守る自然休養村を設ける地域であり、郵政局の青写真に残つているかぎり、ことし阻止できても来年また出てくる、いつできるかわからない学園都市に期待をかけていては問題が残る

小林町長　基本的な姿勢は住民の生活、利便を守る姿勢で対処するが、一応理由ずけとして学園都市と申したが、基本的な姿勢で全力をあげていきたい

などの論議があり、午後になつて日程を追加して、上足寄郵便局廃局反対期成会（畠正吉会長）からの請願を議題として、紹介議員の鷲足議員から『収支だけをみての廃局であり、百戸数百人の住民に話しもなく合点がいかない、開発計画がすすめられており廃局を阻止したい』との説明があつてこれを採択、さらに鷲足、山内議員提出の「上足寄郵便局廃局に関する要望意見書」を全会一致で決議したあと、対策特別委員会を設置することにして、委員は議長指名で鷲足、山内宮川、香川、吉田、大野の六議員となりました。（委員長は山内議員、副委員長は吉田議員に）

樹芸樹木園条例を可決

行政報告につづいて、産業委員会に審査付託となつていた「自然休養村樹芸樹木園地の設置および管理に関する条例」について

吉田委員長　原案議決としたが、本事業の運営にあたつては農家と密接な連携を保ち常に関係農家の所得の増大に結びつけ市場調査で需要の動向を把握し消流ルートを確立すべきである

矢野議員　前の議会で論議した、上足寄からラワンに変えた場所について報告がない

吉田委員長　茂足寄だつたが、あの土地は沢が狭く湿度が高いので、変更はもつともと判断した

矢野議員　地代金を払つたというが、それでは議会が不要である

吉田委員長　地代金は承知していない

鳴海議員　事業計画をどう検討したか、長期安定でできるとの判断だが、町の営でやるのを好ましいと判断したのか

吉田委員長　非常に多額の資金がいる、五年、十年でなければ収益が出ないので当分のあいだ町がテコ入れしなければ推進できない

西村委員　用地の問題は丸瀬布を視察し道の指導からも適地と考え賛成した、樹種の選定が大切で、白ツツジ、紫ツツジが可能で需要は本道から九州までばかりが中国、北米へも輸出が考えられるし、町民ぐるみの緑化が必要である

などの質疑があつて三月の定例会に提案どおりに議決、町税条例の一部を改正町道東二条通り（西小学校から老人いこいの家まで）改良工事を二千百二十万円で十川組と請負契約その他一件を決定、上利別一庄内間町道廃止の専決処分を承認して議案をおえました。

常任委員長など総改選

ついで二年で任期の常任委員の改選にうつり、全議員の希望をとりまとめたうえで

▲総務委員
大久保繁　阿部俊夫　遠山謙　神本三也　斉藤祐一　斉藤昇　大滝弥助

▲産業経済委員
大浦武夫　高橋募　山内勝治　大野耕太郎　湯浅義雄　青木収　吉田吉之助

▲建設委員
宮川孫市　久保田庄太郎　鳴海一郎　佐々木政一　横田文治　多田梅松

▲文教厚生委員
新沼芳雄　鷲足賢　香川博彦　矢野寛一　西村彦三郎　加藤伊三郎

の各氏を議長が指名つづいて委員長と副委員長の選挙をおこなつた結果

▲総務委員長
遠山謙　二三票
次点　大久保繁　一票

▲同　副委員長
阿部俊夫　一五票
次点　斉藤祐一　六票

▲産業経済委員長
吉田吉之助　二三票
次点　大野耕太郎　一票

▲同　副委員長
大野耕太郎　一七票
次点　湯浅義雄　五票

▲建設委員長
鳴海一郎　二三票
次点　宮川孫市　一票

▲同　副委員長
久保田庄太郎　一五票
次点　佐々木政一　六票

▲文教厚生委員長
新沼芳雄　二四票

▲同　副委員長
鷲足賢　一四票
次点　香川博彦　七票

となり、このあと中央五区自治会（清原秀夫会長）からの排水と道路整備の陳情については建設委員会に付託として、午後二時半すぎに閉会しました。

裏工作のポスト

○・町議選直後のはげしいポスト争いまでには至らなかつたものの、楽屋裏での工作でおろされることになつた古参委員長がフンゼンと退席のひと幕も―。

○：議場では保守派十六議員、革新派八議員の色わけによつて堂々めぐりの選挙で、やろうと思えば保守派だけで全ポストを独占できるものの、そこは政治的に事前の話し合いで委員長は二つづつとしたためにスンナリと票がまとまつたものの、副委員長の方は保守派内部での裏工作によつて独占体制に―。

つぎはトマム・仙美里局

日本列島改悪政策？

○…近代化、合理化といえば、まことに聞こえがよいけれども、そのねらいは安あがりの行政、へき地の切り捨て、労働組合の弱体化にあるのでは―。

○…地元選出の国会議員の顔を立てたような形で一年延期とはなつたものの、既定方針どおりに、こんどは地元町長とは問答無用の荒つぽさで上足寄郵便局の廃局通告。

○…全逓労組の調査によれば、このつぎの廃局予定は陸別町のトマムと本別町の仙美里とのこと。

○…国鉄合理化の小駅無人化と同様に、廃局といつても全然なくしてしまうのではなく、いずれも民間委託の簡易局にするので〝決してご不自由はかけません〟とのこと。

○…郵便局にしても国鉄駅にしても、もうかるところもあれば損をするところもあり、それらをふくめてやるのでなく赤字のところだけを民間にやらせるのではやれるものでなく、いずれは廃止の運命で、それはへき地に住むものの運命だということで、要するにこの合理化は日本列島改悪政策

○…そこでハリキツて反対運動をと郵政当局なり国鉄当局なりへ押しかけてみても、お役人のセリフは『これもみなさんが選んだ先生方（自民党）が決めたことなので…』と平然としたものので、なんといつても選挙の一票が大切ということになるのでは―。

道銀足寄支店から　住宅融資のご案内

住宅金融公庫の業務取扱店の北海道銀行足寄支店では、ことしから融資条件の改正によつて融資額の引き上げ、利率の引き下げ、融資ワクの拡大で一般に利用し易くなつたので、市街地ばかりでなく農家方面でも大いに活用して下さいーとPRしています。

木造八〇平方㍍以上の住宅を建てる場合の融資額は二百三十万円で、利率は年五、二％で十八年以内の均等償還方式で、当初の返還月額は二万六百六十六円となり、月収十万三千円以上の方であれば簡単に借りられることになります。

なお、借り入れにさいして保証人の見当らない方は保証協会に一定の保証料を支払えばよいことになりました。

北の富士琴桜一行　八月、本別へ

日本相撲協会による真夏の本道巡業はことしは横綱―北の富士、琴桜、大関―輪島、貴の花をはじめ総員程打ち合せで道東地区は北見、釧路、帯広の三市が決まりましたが、日程の都合でこのほか足寄、本別の両町のうちどちらかで一日をとの交渉があつたのにたいして、足寄町の方は消極的だつたために本別町で開催となりました。

同町での勧進元は鳥居健太郎、岡崎進の両氏で、日どりは八月五日から八日までのあいだで、場所は清流公園としており、北見、釧路、本別、帯広の順で開催の予定となつています。

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
久保呉服店
足寄町　T二一四八

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T二五一二

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
自動車　新津はなや
足寄町西三区　T二六二六

大自然のなかの人工美
―いで湯のふるさと―
観光と保養の　芽登温泉
足寄町芽登　T二八五五

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド　敷物一式　マットレス
小林畳店　小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T二四二八

不動産についての御相談は
調査　売買　あつせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T二三四五

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二二一番

技術に生きる！
テレビ　ラジオ　レコード　ステレオ
ビクター
―あらゆる電気器具―
有限会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T 2642